

福井市DX推進計画実施計画 (アクションプラン)

令和4(2022)年度～令和8(2026)年度

令和4(2022)年3月

令和6(2024)年改定

福 井 市

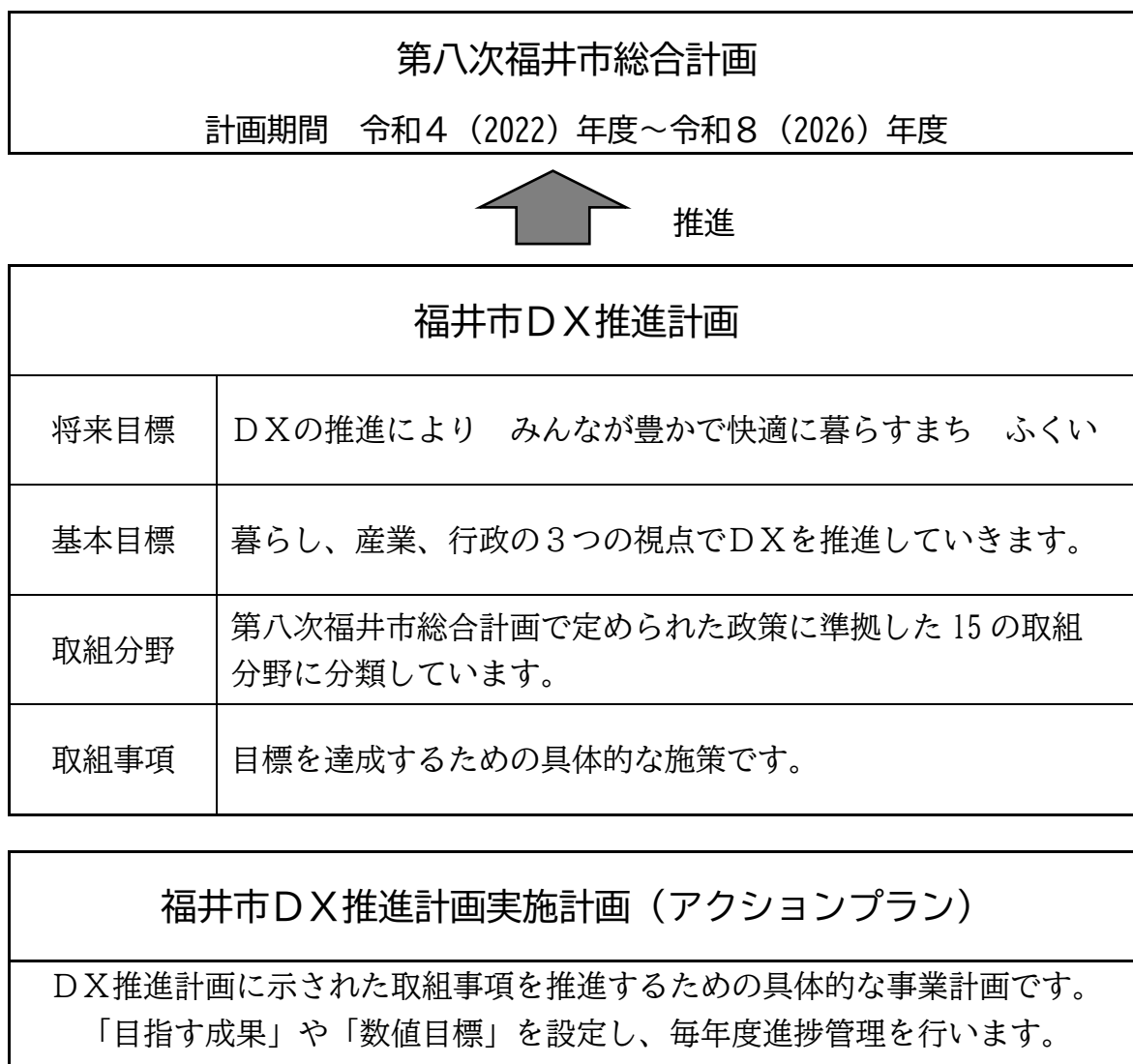
目次

| | | |
|---|--------------------------------|-------|
| 1 | 「福井市DX推進計画実施計画」(アクションプラン)の位置付け | ・・・1 |
| 2 | 計画期間 | ・・・1 |
| 3 | 計画体系と事業数 | ・・・2 |
| 4 | 推進体制 | ・・・3 |
| 5 | DX実施計画の見直しについて | ・・・3 |
| 6 | 個別事業 | ・・・4 |
| | 基本目標 1 暮らしのDX | |
| | 取組分野(1)公共交通に関する取組 | ・・・4 |
| | 取組分野(2)中心市街地に関する取組 | ・・・6 |
| | 取組分野(3)生活インフラに関する取組 | ・・・8 |
| | 取組分野(4)地域活性化に関する取組 | ・・・8 |
| | 取組分野(5)共生・協働に関する取組 | ・・・10 |
| | 取組分野(6)福祉に関する取組 | ・・・11 |
| | 取組分野(7)環境に関する取組 | ・・・13 |
| | 取組分野(8)防災、安全安心に関する取組 | ・・・13 |
| | 取組分野(9)文化、歴史、自然に関する取組 | ・・・17 |
| | 取組分野(10)学校教育に関する取組 | ・・・18 |
| | 取組分野(11)生涯学習に関する取組 | ・・・20 |
| | 基本目標 2 産業のDX | |
| | 取組分野(12)農林水産業に関する取組 | ・・・21 |
| | 取組分野(13)商工業に関する取組 | ・・・23 |
| | 取組分野(14)観光に関する取組 | ・・・23 |
| | 基本目標 3 行政のDX | |
| | 取組分野(15)持続可能な行政運営に関する取組 | ・・・27 |

1 「福井市DX推進計画実施計画」(アクションプラン) の位置付け

「福井市DX推進計画(以下、「DX推進計画」という。)」では、将来目標として「DXの推進により みんなが豊かで快適に暮らすまち ふくい」を掲げ、その将来目標を達成するための3つの基本目標と15の取組分野に分類した50の取組事項を定めています。

この取組事項を推進するための具体的な事業計画として、「福井市DX推進計画実施計画(アクションプラン)(以下、「DX実施計画」という。)」を定めます。



2 計画期間

令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間

3 計画体系と事業数

| 将来目標 | 基本目標 | 取組分野 | 取組事項 | 事業数 |
|----------------------------|------------------------|--------------------------------|------------------------------|-----|
| DXの推進によりみんなが豊かで快適に暮らすまちふくい | 1 暮らしのDX | (1) 公共交通 | ①バスロケーションシステムの活用 | 1 |
| | | | ②ICTを活用した公共交通の利便性の向上 | 2 |
| | | (2) 中心市街地 | ①デジタルサイネージの活用 | 1 |
| | | | ②ICTを活用した通行量調査 | 1 |
| | | | ③デジタルバウチャーを活用したまちなかの商業活性化 | 1 |
| | | (3) 生活インフラ | ①監視システムを活用した簡易水道における水道水の安定供給 | 1 |
| | | (4) 地域活性化 | ①ワーケーションの推進 | 1 |
| | | | ②地域コミュニティのデジタル化 | 1 |
| | | (5) 共生、協働 | ①多言語情報の充実 | 2 |
| | | (6) 福祉 | ①情報バリアフリーの推進 | 1 |
| | | | ②デジタルバйд対策 | 1 |
| | ③多様な媒体を活用した総合的な福祉情報の発信 | | 2 | |
| | ④アプリを活用した健康増進 | | 1 | |
| | (7) 環境 | ①AIの活用によるごみの分別支援 | 1 | |
| | | ②フリマプラットフォームを活用したリユースの推進 | 1 | |
| | (8) 防災、安全安心 | ①防災・災害対策の充実 | 1 | |
| | | ②管理システム等を活用した道路、河川等の維持管理 | 5 | |
| | | ③メールシステムの活用 | 2 | |
| | | ④災害時におけるドローンの活用 | 1 | |
| | (9) 文化、歴史、自然 | ①デジタル・アーカイブスの提供 | 2 | |
| | | ②デジタルサイネージによる情報発信 | 1 | |
| | | ③インターネットを活用した文化芸術活動の推進 | 1 | |
| | (10) 学校教育 | ①小中学校におけるICT環境の整備 | 1 | |
| | | ②情報リテラシー・情報モラル教育の充実 | 2 | |
| | (11) 生涯学習 | ①インターネットを活用した公民館事業の実施 | 1 | |
| | | ②自動貸出に対応した図書館システムの整備 | 1 | |
| | 2 産業のDX | (12) 農林水産業 | ①スマート農業 | 2 |
| | | | ②スマート林業 | 1 |
| | | | ③スマート漁業 | 1 |
| | | (13) 商工業 | ①企業のDXの推進 | 1 |
| | (14) 観光 | ①多様な媒体を活用した観光情報の発信 | 2 | |
| | | ②Wi-Fi環境整備 | 3 | |
| | | ③キャッシュレス決済の推進 | 1 | |
| ④インバウンド消費拡大支援 | | 1 | | |
| 3 行政のDX | (15) 持続可能な行政運営 | ①マイナポータル等の活用による各種申請の電子化の促進 | 1 | |
| | | ②マイナンバーカードの普及促進 | 3 | |
| | | ③マイキープラットフォームによる地域活性化への取組 | 1 | |
| | | ④統計調査・ビッグデータ・オープンデータの活用 | 1 | |
| | | ⑤多様な媒体を活用した行政情報の発信 | 1 | |
| | | ⑥自治体の情報システムの標準化・共通化 | 1 | |
| | | ⑦地域情報プラットフォームの普及・推進 | 1 | |
| | | ⑧窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | 19 | |
| | | ⑨セキュリティ対策の徹底 | 1 | |
| | | ⑩キャッシュレス決済の推進 | 1 | |
| | | ⑪行政事務の電子化の推進 | 4 | |
| | | ⑫デジタル人材の確保・育成 | 3 | |
| | | ⑬AI・RPAの活用 | 3 | |
| | | ⑭Web会議の活用 | 3 | |
| | | ⑮テレワークの推進 | 1 | |
| | | ⑯先進情報技術の活用 | 1 | |
| 合計 | | | | 93 |

※取組事項及び個別事業については、適宜、追加等見直しを行います。

4 推進体制

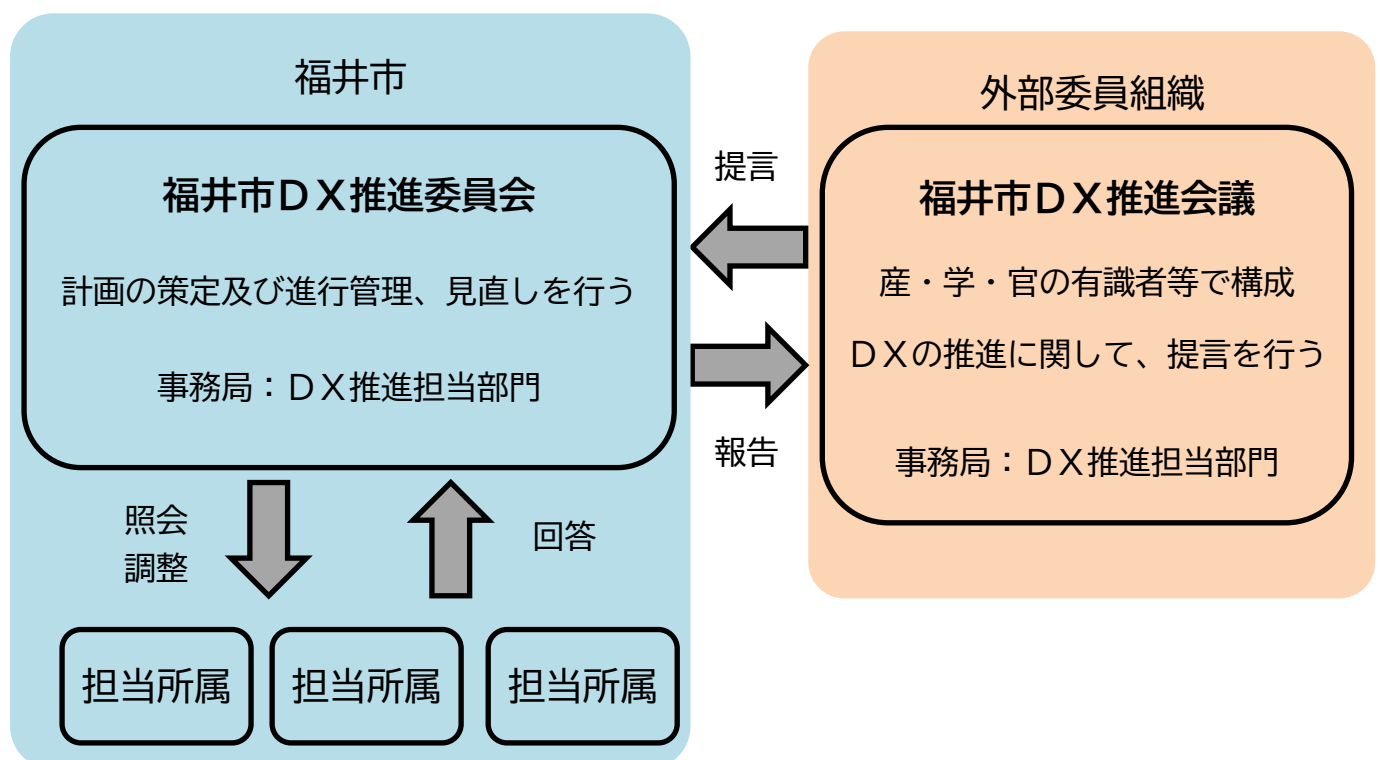
DX実施計画は、職員で構成する「福井市DX推進委員会」と、産・学・官の有識者等で構成する「福井市DX推進会議」の連携による推進体制の下で実施します。

(1) 福井市DX推進委員会

「福井市DX推進委員会」において計画の策定及び進行管理を行います。

(2) 福井市DX推進会議

「福井市DX推進会議」は、計画の進捗状況を踏まえ、「福井市DX推進委員会」にDXの推進に関して、提言を行います。



5 DX実施計画の見直しについて

DX実施計画は、毎年度見直しの検討を行い、適宜追加や修正を行います。

6 個別事業

重点取組事項 **あわせて取り組むべき事項** **その他の取組事項** は、自治体DX推進計画で自治体に取り組むべき事項として記載されているものです。

官民データ は、官民データ活用推進計画に関する事項です。

新規 は、福井市DX推進計画実施計画から新たに掲載される事業です。

基本目標：1 暮らしのDX

| | | |
|------|----------------|---|
| 取組分野 | (1) 公共交通に関する取組 |     |
|------|----------------|---|

| | | | |
|-------|--|---|-------|
| 取組事項 | ① バスロケーションシステムの活用 | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや携帯端末から路線バスの位置情報がリアルタイムで検索できるバスロケーションシステムについて、バス利用者や観光客・来外者等への更なる周知広報を図ります。 ・地域拠点等における当該システムを活用した情報提供の在り方等についても検討を進め、誰もが手軽にバスの位置情報を把握できる環境づくりを進めていきます。 | | |
| 担当所属 | 地域交通課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージを活用したバスロケーションシステムの導入場所、運用方法について検討 ・地域拠点等へのデジタルサイネージの設置 | |
| | 令和5～8年度 | デジタルサイネージの運用と設置 | |
| 目指す成果 | 地域拠点等の利便性向上 | | |
| 数値目標 | バスロケーションシステムの整備拠点数（累計） | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|---------|
| 取組事項 | ②-1 ICTを活用した公共交通の利便性の向上 | | | |
| 事業内容 | 地域住民の移動ニーズに応じて、複数の公共交通を最適に組み合わせ検索、予約、決済を一括で行う、MaaSシステムを導入します。 | | | |
| 担当所属 | 地域交通課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | ・(仮)ふくい嶺北連携中枢都市圏MaaS協議会の設立 ・実証実験(電子企画切符) | | |
| | 令和5年度 | ・ふくいMaaSアプリの構築 | | |
| | 令和6~8年度 | ・ふくいMaaSアプリの運用及び機能強化 | | |
| 目指す成果 | 鉄道(えちぜん鉄道、福井鉄道)及びバス(路線バス、フィーダーバス)の乗車人数の向上 | | | |
| 数値目標 | 乗車人数 | | | |
| | 令和3年度末 | 7,380千人 | 令和8年度 | 9,100千人 |

| | | | | |
|-------|---|-------------------------------------|-------|---------|
| 取組事項 | ②-2 新規 ICTを活用した公共交通の利便性の向上 | | | |
| 事業内容 | 福井市まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」にICTを活用した非対面式シェアサイクルシステムを導入し、キャッシュレス決済や多言語対応等による利便性の向上に取り組みます。 | | | |
| 担当所属 | 自転車利用推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | シェアサイクルシステム導入にかかる業者選定を行い、令和5春頃の運用開始 | | |
| | 令和5~8年度 | 福井市観光交流センターにポートを増設 | | |
| 目指す成果 | シェアサイクル活用による観光客やビジネス客、市民の利便性の向上 | | | |
| 数値目標 | シェアサイクル利用回数 | | | |
| | 令和3年度末 | 5,051回 | 令和8年度 | 23,000回 |

1 暮らしのDX

取組分野 (2) 中心市街地に関する取組



| | | | | |
|-------|--|---|-------|---------|
| 取組事項 | ① 新規 デジタルサイネージの活用 | | | |
| 事業内容 | 北陸新幹線福井開業に向けてデジタルサイネージを導入し、分かりやすい情報発信やまちなかを訪れる来街者が楽しんで回遊できる環境を創出します。 | | | |
| 担当所属 | 都市整備課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージの整備計画、運用計画の検討 福井駅等にある既存のデジタルサイネージとの連携検討 | | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージの設計及び配信システム構築 デジタルサイネージ設置工事 コンテンツ制作 デジタルサイネージの運用（令和6年3月～） | | |
| | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージの運用 | | |
| 目指す成果 | まちなかの回遊性向上 | | | |
| 数値目標 | 歩行者・自転車通行量（10地点） | | | |
| | 令和3年度末 | 27,803人 | 令和8年度 | 43,000人 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------|-----------|
| 取組事項 | ② 新規 ICTを活用した通行量調査 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の各種事業の効果を計測するため、歩行者・自転車の通行量を調査します。 ・ 歩行者・自転車通行量の計測について、GPSやWi-Fi、カメラ画像のAI解析などの手法を比較検討します。 ・ データを安定的に取得できる手法を導入して、中心市街地の各種施策の有効性の検証に役立てます。 | | | |
| 担当所属 | 都市整備課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者通行量調査（人力） （7月の平日と休日、10月の平日と休日、計4日間） ・ ICTを活用した計測手法の比較検討 （GPS、Wi-Fi、レーザーカウンター、カメラ画像のAI解析などの計測手法の比較検討） | | |
| | 令和5～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者通行量調査（人力） ・ ICTを活用した計測手法の導入 | | |
| 目指す成果 | 7月と10月の人流データの安定取得による、中心市街地の各種事業の効果の把握 | | | |
| 数値目標 | 歩行者通行量調査日数 | | | |
| | 令和3年度末 | 4日間（人力） | 令和8年度 | 2か月間（ICT） |

| | | | | |
|-------|--|---------------------------------|-------|------|
| 取組事項 | ③ 新規 デジタルバウチャーを活用したまちなかの商業活性化 | | | |
| 事業内容 | まちなかの店舗で使用できるデジタルバウチャーを発行し、商業活性化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 商工振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | デジタルバウチャー「ふく割」の周知・広報により利用促進を図る。 | | |
| 目指す成果 | ふく割の利用増による、まちなかの商業活性化 | | | |
| 数値目標 | ふく割アプリ登録者数 | | | |
| | 令和3年度末 | 32万人 | 令和8年度 | 37万人 |

1 暮らしのDX

| | | |
|------|------------------|--|
| 取組分野 | (3) 生活インフラに関する取組 |      |
|------|------------------|--|

| | | | | |
|-------|--|--|-------|----------|
| 取組事項 | ① 監視システムを活用した簡易水道における水道水の安定供給 | | | |
| 事業内容 | 簡易水道施設における無監視施設において、監視システムを整備し配水池の水位等を監視します。 | | | |
| 担当所属 | 簡易水道課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 無線による遠方監視装置、水位計を設置しインターネットを利用して施設の監視を行う。(毎年1施設増設) ※ 下味見地区施設の統合により、施設数が3施設減少し、内、遠方監視システムも2施設減少する。(令和7年度) | | |
| 目指す成果 | 簡易水道における水道水の安定供給 | | | |
| 数値目標 | 遠方監視システムの整備 | | | |
| | 令和3年度末 | 21/32 施設 | 令和8年度 | 29/29 施設 |

| | | |
|------|-----------------|---|
| 取組分野 | (4) 地域活性化に関する取組 |    |
|------|-----------------|---|

| | | | | |
|-------|---|---|-------|------|
| 取組事項 | ① ワークেশョンの推進 | | | |
| 事業内容 | 新しい働き方・暮らし方であるワークেশョン（ワーク×バケーション）を推進し、関係人口の創出・拡大や移住定住の促進に取り組みます。 | | | |
| 担当所属 | 移住定住交流課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | ワークেশョン推進拠点として越廼サテライトオフィスの利用促進を図るとともに、地域団体等と連携し、地域住民との交流や地元の生活体験を軸にしたワークেশョンの推進に取り組む。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化や関係人口の創出拡大 ・将来的な移住定住の促進 | | | |
| 数値目標 | 越廼サテライトオフィス登録者数 | | | |
| | 令和3年度末 | 25 人 | 令和8年度 | 35 人 |







| | | | | |
|-------|---|--|-------|-------|
| 取組事項 | ② 新規 地域コミュニティのデジタル化 あわせて取り組むべき事項 官民データ | | | |
| 事業内容 | 地区住民がデジタル機器を使いこなせる環境づくりに向け、福井市地域プロジェクトマネージャーを任用し、市内モデル地区において、デジタル機器の利活用能力の向上、自治会業務や日常生活のデジタル化に取り組みます。 | | | |
| 担当所属 | 地域振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | モデル地区にて事業実施 ・デジタル機器（スマホ等）の活用講座 ・自治会業務のデジタル化の検討 ・日常生活上のデジタルサービス導入の検討 ・地区内デジタルサポーター養成の検討 等 | | |
| | 令和5～8年度 | デジタル機器（スマホ等）の活用講座の横展開を行いながら、地域コミュニティのデジタル化を推進 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティのデジタル化による、自治会活動の効率化、日常生活上の地域課題の解決 ・デジタルデバイドを解消するための地区内フォロー体制の構築 | | | |
| 数値目標 | デジタル機器（スマホ等）の活用講座の開催地区数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 48 地区 |

取組分野 (5) 共生、協働に関する取組



| | | | |
|-------|--|---|------------|
| 取組事項 | ① - 1 多言語情報の充実 | | |
| 事業内容 | 多言語ユニバーサル情報配信ツール (MC Catalog + with Catalog Pocket) (以下「カタログポケット」) を活用し、日本語を母国語としない人や障がいのある人を含めた、あらゆる人に伝わりやすい広報を実現します。 | | |
| 担当所属 | 広報プロモーション課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙などで、カタログポケットの利用を市民に呼びかける。 ・ 広報紙をはじめとする、市の重要な施策に関するお知らせの冊子やチラシをカタログポケットで発信する。 ・ カタログポケットでの情報発信件数 30 件 | |
| | 令和5年度 | カタログポケットでの情報発信件数 33 件 | |
| | 令和6年度 | カタログポケットでの情報発信件数 35 件 | |
| | 令和7年度 | カタログポケットでの情報発信件数 38 件 | |
| | 令和8年度 | ↓ カタログポケットでの情報発信件数 40 件 | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の Catalog Pocket (閲覧ツール) 利用の促進 ・ 庁内の MC Catalog + (配信ツール) 活用の推進 | | |
| 数値目標 | カタログポケットでの情報提供 | | |
| | 令和3年度 | 25 件 | 令和8年度 40 件 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------|---------------------|
| 取組事項 | ① - 2 多言語情報の充実 | | | |
| 事業内容 | 福井市多文化共生推進プランに基づき、行政情報等を、外国人市民を含め多くの市民に理解してもらうために、デジタルツールを活用し、やさしい日本語や多言語での情報提供と、情報伝達手段の確保に努めます。 | | | |
| 担当所属 | 観光振興課 国際室 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・多言語情報キオスク端末（市民ホールに設置）、市ホームページ（多言語ページ）、ソーシャルメディア（FCAのFacebook等）の内容を更新する。 ・窓口案内の利便性を高めるため翻訳アプリやビデオチャットツールを利用して通訳を行う。 | | |
| 目指す成果 | デジタルツールを活用した多言語情報の充実による、窓口案内の利便性向上 | | | |
| 数値目標 | 翻訳アプリによる対応の満足度 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 80%以上 (利用者アンケート) |

| | | |
|------|--------------|--|
| 取組分野 | (6) 福祉に関する取組 |       |
|------|--------------|--|

| | | | | |
|-------|--|--|-------|----|
| 取組事項 | ① 情報バリアフリーの推進 | | | |
| 事業内容 | 市ホームページについて、文字の大きさや色彩、音声読み上げ等に配慮し、高齢者や障がい者にもわかりやすい情報発信を行います。 | | | |
| 担当所属 | 広報プロモーション課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・各所属にウェブアクセシビリティ（高齢者や障がい者を含め誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できること）に配慮したホームページの作成を呼びかけるとともに、職員向けの操作研修を実施する。 ・職員向けの操作研修 2回（初級・中級） | | |
| 目指す成果 | ウェブアクセシビリティへの配慮による情報バリアフリーの推進 | | | |
| 数値目標 | 職員向けの操作研修 | | | |
| | 令和3年度末 | 2回 | 令和8年度 | 2回 |

1 暮らしのDX

| | | | | |
|-------|--|-----------------------------|-------|------------------|
| 取組事項 | ② 新規 デジタルデバインド対策 あわせて取り組むべき事項 官民データ | | | |
| 事業内容 | スマホ教室などを含む市民ICT事業を教育事業の一つとして継続して位置づけ、デジタルデバインド解消に向け各公民館での事業実施を促進します。 | | | |
| 担当所属 | 生涯学習課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | デジタルデバインド解消に向けた各種教育事業の実施を促す | | |
| 目指す成果 | ICTが不得手な高齢者などがスマホやインターネットなどの情報技術を活用できるようになる | | | |
| 数値目標 | 計画期間中に市民ICT事業講座を実施した公民館数 | | | |
| | 令和3年度末 | 26館 (平成29～令和3) | 令和8年度 | 50館 (令和4～令和8) |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|----|
| 取組事項 | ② - 1 新規 多様な媒体を活用した総合的な福祉情報の発信 | | | |
| 事業内容 | 子育てに関する役立つ情報を「ぱんだ通信」として、YouTubeにおいて動画配信を行います。 | | | |
| 担当所属 | こども政策課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する役立つ情報を「ぱんだ通信」として、YouTubeにおいて動画配信を行う。 新着動画の通知を受け取るためのチャンネル登録を促す。 | | |
| 目指す成果 | 子育て環境の向上 | | | |
| 数値目標 | YouTubeでの子育てに役立つ情報の動画配信数 | | | |
| | 令和3年度末 | 34 | 令和8年度 | 94 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------|---------|
| 取組事項 | ③ - 2 多様な媒体を活用した総合的な福祉情報の発信 | | | |
| 事業内容 | インターネットで自殺関連用語を検索した人に、相談窓口への連動広告を出すことによりピンポイントで支援情報を届け、自殺防止に繋がります。 | | | |
| 担当所属 | 地域保健課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> インターネットで自殺に関連する用語を検索した人に、相談窓口につながる広告を掲載する。 自殺に関連するキーワードの追加・削除、広告表現の追加、広告表示オプションの追加等を行う。 | | |
| 目指す成果 | 年間自殺者数の減少 | | | |
| 数値目標 | 広告クリック数 | | | |
| | 令和3年度末 | 15,125回 | 令和8年度 | 15,000回 |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|--------|
| 取組事項 | ④ 新規 アプリを活用した健康増進 | | | |
| 事業内容 | スマートフォン用ウォーキングアプリケーションを導入し、健康活動（歩数等）に応じてポイントを付与することで、運動習慣の定着などを促し、市民の健康増進を図る。 | | | |
| 担当所属 | 健康管理センター、保険年金課 | | | |
| 年度計画 | 令和6年度 | ・システムセットアップ ・広報、アプリ説明会 ・アプリ運用開始(10月開始予定) | | |
| 目指す成果 | ・市民の健康増進の推進 | | | |
| 数値目標 | アプリ利用者数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和6年度 | 3,000人 |

※令和6年度から追加






| | |
|------|--|
| 取組分野 | (7) 環境に関する取組  |
|------|--|

| | | | | |
|-------|--|--|-------|---|
| 取組事項 | ① 新規 AIの活用によるごみの分別支援 | | | |
| 事業内容 | ごみに関する市民からの問合せについて、24時間365日質問が可能なAIを活用した自動応答サービス（AIチャットボット）の周知と活用の呼びかけを行います。 | | | |
| 担当所属 | 環境政策課、収集資源センター | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 出前講座やソーシャルメディア等でAIチャットボットの周知と活用の呼びかけを行う。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日の問合せ対応による、市民の利便性の向上 ・電話や窓口対応の事務軽減による、業務効率の改善 | | | |
| 数値目標 | チャットボット（ごみ分野）年間利用数 （数値目標は「3 行政のDX（15）⑬-1 AI・RPAの活用」に含まれる） | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | — |

1 暮らしのDX

| | | | | |
|-------|--|-------------------|-------|-------|
| 取組事項 | ② 新規 フリマプラットフォームを活用したリユースの推進 | | | |
| 事業内容 | フリマプラットフォーム（メルカリ等）を活用し、収集した粗大ごみから使える物をリユースします。 | | | |
| 担当所属 | 収集資源センター | | | |
| 年度計画 | 令和6年度 | 粗大ごみリユースプロジェクトの実施 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの削減・資源化、ゼロカーボンシティへの貢献 ・SDGsの推進 ・リユースによる新たな自主財源の確保 | | | |
| 数値目標 | 想定売却額（歳入） | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和6年度 | 250千円 |

※令和6年度から追加

| | |
|------|--|
| 取組分野 | (8) 防災、安全安心に関する取組      |
|------|--|

| | | | | |
|-------|---|--|-------|-------|
| 取組事項 | ① 防災・災害対策の充実 | | | |
| 事業内容 | 災害が発生した場合に、防災行政無線や福井市防災気象情報メール、ホームページ、ソーシャルメディア、Lアラート等の様々な媒体を活用し避難情報等の災害情報を住民へ広く提供していきます。 | | | |
| 担当所属 | 危機管理課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 出前講座や研修会、広報紙、ホームページ等で災害情報の入手方法について周知を図る。 | | |
| 目指す成果 | 迅速かつ多様な災害情報の提供による、災害被害の軽減 | | | |
| 数値目標 | 災害情報の配信方法 | | | |
| | 令和3年度末 | 8種類 | 令和8年度 | 8種類以上 |

| | | | | |
|-------|--|---|-------|------------------------|
| 取組事項 | ② - 1 新規 管理システム等を活用した道路、河川等の維持管理 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・冠水センサーやカメラ等からのリアルタイム情報を一元的に管理・運用できる水防管理システムを構築し、水防業務の効率化を図ります。 ・GPSを利用した稼働状況の把握や、消雪の遠隔管理情報等の除雪情報を一元的に管理・運用できる除雪管理システムを構築し、除雪業務の効率化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 道路課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・水防管理システムの導入 ・地下道等監視機器 現地ハード整備 ・除雪管理システムの導入 ・消融雪遠隔管理機器 現地ハード整備 ・除雪専用GPS 現地ハード整備 | | |
| | 令和5～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・地下道等監視機器 現地ハード整備 ・消融雪遠隔管理機器 現地ハード整備 ・除雪専用GPS 現地ハード整備 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・水防パトロールに要する時間の短縮 ・職員数が減少している中においても迅速に現場対応等を行える体制づくり ・除雪業務の効率化によって得られる情報のみえる化 | | | |
| 数値目標 | 地下道遠隔監視装置、カメラの設置数 | | | |
| | 令和3年度末 | 地下道監視装置 0基 カメラ 0台 | 令和8年度 | 地下道監視装置 33基 カメラ 43台 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|-----|
| 取組事項 | ③ - 2 新規 管理システム等を活用した道路、河川等の維持管理 | | | |
| 事業内容 | 福井市LINE公式アカウント上に、道路やガードレール、カーブミラー等の損傷通報の窓口を導入し、道路破損等の情報収集に努めます。 | | | |
| 担当所属 | 監理課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した通報の状況を検証し、需要が見込まれる場合には、機能の拡充等を検討する。 | | |
| 目指す成果 | SNS等を通じた市民からの情報提供により、道路管理瑕疵事故の発生件数の減少に努める。 | | | |
| 数値目標 | 道路管理瑕疵事故発生件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 33件 | 令和8年度 | 10件 |

1 暮らしのDX

| | | | | |
|-------|---|---|-------|------------------------|
| 取組事項 | ③ - 3 管理システム等を活用した道路、河川等の維持管理 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定点観測箇所（浸水常襲箇所）において水位計やウェブカメラ等を整備するとともに、タブレット端末を導入することにより、水防業務の効率化及び現場対応の迅速化を図ります。 ・ 水位計やウェブカメラ等からのリアルタイムの情報やタブレット端末により現場から共有される情報等を一元的に管理・運用できる「水防管理システム」を構築します。 | | | |
| 担当所属 | 河川課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 水防管理システムの導入 ・ タブレット端末の導入 ・ 水位計及びウェブカメラの設置 | | |
| 目指す成果 | 水防業務の効率化及び現場対応の迅速化 | | | |
| 数値目標 | 水位計・ウェブカメラの設置数 | | | |
| | 令和3年度末 | 水位計 7か所 ウェブカメラ 7台 | 令和8年度 | 水位計 17か所 ウェブカメラ 12台 |

| | | | | |
|-------|--|---|-------|-----|
| 取組事項 | ② - 4 新規 管理システムを活用した道路、河川等の維持管理 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年の局地的大雨による浸水被害に対応するため、ウェブカメラ・水位計等の観測情報のリアルタイム監視や施設操作の遠隔化により、対応の迅速化及び業務の効率化を図ります。 ・ ハード整備事業の効果を、ウェブカメラによるリアルタイムで監視・検証することで、より効率的かつ効果的な対策を検討します。 | | | |
| 担当所属 | 下水管路課 雨水対策室 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設操作の遠隔化整備（3施設） ・ ウェブカメラや水位計等の観測情報を活用し、施設操作を遠隔化により実施 ・ ウェブカメラ活用による、リアルタイム監視での事業効果検証 | | |
| | 令和5～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブカメラや水位計等の観測情報を活用し、施設操作を遠隔化により実施 ・ ウェブカメラ活用による、リアルタイム監視での事業効果検証 | | |
| 目指す成果 | 浸水箇所を早期発見し、施設の遠隔操作等の迅速な対応により、浸水被害を最小化 | | | |
| 数値目標 | 施設操作の遠隔化 | | | |
| | 令和3年度末 | 0施設 | 令和8年度 | 3施設 |

| | | | | |
|-------|--|---------|-------|---------|
| 取組事項 | ③ - 5 新規 管理システムを活用した道路、河川等の維持管理 | | | |
| 事業内容 | 道路カメラを整備し、除雪業務における現場確認作業の効率化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 道路課 | | | |
| 年度計画 | 令和6～8年度 | 道路カメラ整備 | | |
| 目指す成果 | 現場確認等における情報共有の効率化 | | | |
| 数値目標 | 道路カメラ設置数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 累計 25 台 |



※令和6年度から追加

| | | | | |
|-------|--|---|-------|----|
| 取組事項 | ④ - 1 新規 メールシステムの活用 | | | |
| 事業内容 | 公立認定こども園・保育園において保護者への緊急連絡システムを活用し、緊急時に保護者への連絡を迅速に行います。 | | | |
| 担当所属 | こども保育課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル送信機能を活用し、お便りを配信する等の利用を広め、保育者の業務改善につなげる。 ・アンケート集計機能を活用した双方向のやりとりを検討する。 | | |
| 目指す成果 | 保護者への迅速かつ正確な情報の伝達、業務効率の改善 | | | |
| 数値目標 | 公立認定こども園・保育園での利用 | | | |
| | 令和3年度末 | 全園 | 令和8年度 | 全園 |

| | | | | |
|-------|---|--------------------------|-------|------|
| 取組事項 | ④ - 2 メールシステムの活用 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と学校との連絡を目的に設けているメールシステムを活用し、児童生徒に対する事件や危険な事案が発生した場合、より速く情報をメール配信し、予防や再発防止等のために役立てます。 ・メールシステムのファイル送信機能やアンケート集計機能を活用し、保護者と学校の情報共有を円滑化します。 | | | |
| 担当所属 | 学校教育課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 緊急連絡システムを利用し、保護者への連絡を行う。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・メールシステムの利用による児童生徒の安全確保 ・保護者の利便性の向上、教職員の業務効率改善 | | | |
| 数値目標 | 連絡メールシステムの利用 全児童生徒の保護者 | | | |
| | 令和3年度末 | 100% | 令和8年度 | 100% |

1 暮らしのDX

| | | | | |
|-------|---|-----------------|-------|--------|
| 取組事項 | ⑤ 新規 災害時におけるドローンの活用 | | | |
| 事業内容 | 地震や風水害などの広域的な災害現場での情報収集をはじめ、大規模火災が発生した際の延焼状況の把握、さらには水難救助や山間部における捜索活動などにドローンを活用し、市民の安全・安心の向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 救急救助課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 定期訓練及び災害対応等 12回 | | |
| 目指す成果 | 的確な活動方針の決定及び迅速な災害対応による被害の軽減 | | | |
| 数値目標 | 定期訓練及び災害対応等 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 累計 60回 |

| | | |
|------|--------------------|---|
| 取組分野 | (9) 文化、歴史、自然に関する取組 |    |
|------|--------------------|---|

| | | | | |
|-------|---|---|-------|------|
| 取組事項 | ① -1 デジタル・アーカイブスの提供 | | | |
| 事業内容 | 地域の教育現場や調査・研究に利用してもらうため博物館等の収蔵品などを高精細画像で電子的に保存するとともにインターネット経由で情報提供できるシステムの充実を目指します。 | | | |
| 担当所属 | 自然史博物館 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・足羽山大図鑑情報の更新 ・X (旧 Twitter) ・ Instagram を中心とした情報配信 | | |
| 目指す成果 | 当館所蔵の主要資料のデジタルデータベースの充実 | | | |
| 数値目標 | デジタルデータベース掲載資料件数 (累計) | | | |
| | 令和3年度末 | 500件 | 令和8年度 | 600件 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|-------|
| 取組事項 | ① - 2 デジタル・アーカイブスの提供 | | | |
| 事業内容 | 地域の教育現場や調査・研究に利用してもらうため博物館等の収蔵品などを高精細画像で電子的に保存するとともにインターネット経由で情報提供できるシステムの充実を目指します。 | | | |
| 担当所属 | 郷土歴史博物館 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 当館所蔵重要資料のうち、未だデジタルデータベースに掲載できていないものを、解説を付してデータベースに掲載していく。 | | |
| 目指す成果 | 当館所蔵の主要資料のデジタルデータベースの充実 | | | |
| 数値目標 | デジタルデータベース掲載資料件数（累計） | | | |
| | 令和3年度末 | 50件 | 令和8年度 | 300件 |
| 取組事項 | ② デジタルサイネージによる情報発信 | | | |
| 事業内容 | 足羽山ビジターセンターでデジタルサイネージによる情報発信を行います。 | | | |
| 担当所属 | 自然史博物館 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 足羽山及び周辺の情報デジタルサイネージで紹介する。 | | |
| 目指す成果 | 来館者への最新情報の提供 | | | |
| 数値目標 | データの更新回数 | | | |
| | 令和3年度末 | 5回/年 | 令和8年度 | 10回/年 |

| | | | | |
|-------|--|---------------|-------|--------|
| 取組事項 | ③ インターネットを活用した文化芸術活動の推進 | | | |
| 事業内容 | 誰でも参加できる文化芸術の発表と鑑賞の場をオンライン上に設けることで、次代の担い手を育成し、文化芸術活動を推進します。 | | | |
| 担当所属 | 文化振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | バーチャル文化芸術祭の開催 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動の発表の機会と文化芸術に触れ親しむ機会の市民等への提供 次代の担い手育成による、文化芸術活動の推進 | | | |
| 数値目標 | バーチャル文化芸術祭応募者と観覧者の合計者数 | | | |
| | 令和3年度末 | 2,000人 | 令和8年度 | 4,700人 |

1 暮らしのDX

取組分野 (10) 学校教育に関する取組



| | | | | |
|-------|--|---|-------|---|
| 取組事項 | ① 小中学校におけるICT環境の整備 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 授業で情報機器を活用できる環境を整備するため、全ての教室に無線高速インターネット環境を整えます。 端末の整備・更新を進め、快適にICTを利用した学習ができる環境を整備します。 ICTに関する専門知識をもったGIGAスクールサポーターを配置し、サポート体制の充実を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 学校教育課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | サーバー更新に伴う、ネットワーク容量とセキュリティの向上 | | |
| | 令和5年度 | 中学校端末の更新に伴い、同一機種での整備完了 | | |
| | 令和6～8年度 | 導入端末の更新 | | |
| 目指す成果 | 無線接続による高速インターネットと1人1台のタブレット端末の活用による、効果的・効率的な授業の実施 | | | |
| 数値目標 | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が快適に学習に利用できるタブレット端末の充足率 1人当たりの平均回線速度 | | | |
| | 令和3年度末 | <ul style="list-style-type: none"> 充足率 100% 回線速度 0.4Mbps 以上 | 令和8年度 | <ul style="list-style-type: none"> 充足率 100% 回線速度 2Mbps 以上 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|-------|
| 取組事項 | ② -1 情報リテラシー・情報モラル教育の充実 | | | |
| 事業内容 | ICTを活かした教育を推進するため、児童生徒1人1台のタブレット端末を整備します。 | | | |
| 担当所属 | 学校教育課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> 1人1台タブレットを活用した授業を行う。 教職員対象の研修を充実させる。 グループウェアを利用し、学校の取組を市全体に広げる。 子どもの姿を通して研究を深めるために授業公開を進める。 発達段階に応じた情報リテラシー教育を行う。 | | |
| 目指す成果 | 子どもたちがロボットやAIを活用する新しい社会(Society5.0)で活躍できる力の育成 | | | |
| 数値目標 | 市内小中学校におけるタブレット端末を活用した授業の公開 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 全小中学校 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------|------------|
| 取組事項 | ③ - 2 情報リテラシー・情報モラル教育の充実 | | | |
| 事業内容 | 子どもたちがインターネットを起因としたトラブルに巻き込まれることのないように、ネット上の危険性と適正利用に関する講習会を開催します。 | | | |
| 担当所属 | 学校教育課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル講習会を市内小中学校で実施（対象：児童生徒及びその保護者）し、インターネットを起因としたトラブルについて事例紹介をする。 ・家庭におけるインターネット使用に係るルールづくりや有害情報の閲覧制限（フィルタリング）の重要性について周知徹底を図る。 | | |
| | 令和5～8年度 | 継続して、学年に応じた情報モラル教育を推進する。 | | |
| 目指す成果 | 自分の行動に責任を持つ考え方や態度を養う情報モラル教育を推進し、生活習慣の乱れや犯罪被害の防止を図る。 | | | |
| 数値目標 | 市内小中学校における情報モラル講習会の開催（自校開催を含む） | | | |
| | 令和3年度末 | 全小中学校（80校） | 令和8年度 | 全小中学校（80校） |

| | | |
|------|-----------------|---|
| 取組分野 | (11) 生涯学習に関する取組 |     |
|------|-----------------|---|

| | | | | |
|-------|--|---------------------------------|-------|-----|
| 取組事項 | ① インターネットを活用した公民館事業の実施 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式のもとで、地域住民のつながりを広げるため、オンライン会議（Zoom等）や動画配信（YouTube等）を通して公民館事業を実施します。 ・公民館において、各種事業でZoom等の活用を推進します。 ・教育事業の講座のYouTube等の動画配信などを推進します。 | | | |
| 担当所属 | 生涯学習課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 公民館教育事業、各種会議等にてインターネットの活用を推進する。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動の公民館に足を運ぶことができなかった高齢者、障がい者等への学習機会の創出 ・公民館との接点の少ない青年層などへの公民館事業の波及 | | | |
| 数値目標 | インターネットを活用した事業件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 28件 | 令和8年度 | 50件 |

1 暮らしのDX

| | | | | |
|-------|---|--|-------|----|
| 取組事項 | ② 新規 自動貸出に対応した図書館システムの整備 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館、みどり図書館に図書の自動貸出機を導入します。 ・自動貸出機の導入により、貸出手続における迅速化や個人の読書傾向等のプライバシーへの配慮、ポストコロナを見据えた人との接触機会の減少に繋がります。 ・職員の貸出業務の省力化で図書に関する問合せ等への対応を充実させ、図書館の窓口サービスを向上させます。 | | | |
| 担当所属 | 図書館 | | | |
| 年度計画 | 令和4～5年度 | 図書の自動貸出開始に向け、図書を管理するための準備として、ICチップ付タグの貼付及び登録の作業を実施 | | |
| | 令和6～8年度 | 市立図書館、みどり図書館に図書の自動貸出機を導入、運用 | | |
| 目指す成果 | 図書の自動貸出の導入による市民サービスの向上 | | | |
| 数値目標 | 自動貸出を実施する図書館数 | | | |
| | 令和3年度末 | 1館 | 令和8年度 | 3館 |

基本目標：2 産業のDX

| | | | | | | | |
|------|------------------|---|--|---|---|---|---|
| 取組分野 | (12) 農林水産業に関する取組 |  |  |  |  |  |  |
|------|------------------|---|--|---|---|---|---|

| | | | | |
|-------|--|--|-------|-------|
| 取組事項 | ①-1 新規 スマート農業 | | | |
| 事業内容 | 農業者の高齢化や後継者不足が顕著化する中、「持続的な農業の発展」のため、農作業の省力化や営農技術の高度化が可能となるスマート農業を推進し、スマート農業に必要な施設や機械の整備を支援します。 | | | |
| 担当所属 | 農政企画課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | ・国庫事業及び県単事業を活用し、スマート農業に必要な施設や機械の整備を支援（1経営体/年度） | | |
| 目指す成果 | 農作業の省力化、労力の軽減、農産物の高品質化による農業所得の向上 | | | |
| 数値目標 | 国・県の支援制度を活用し、スマート農業を導入する経営体数（累計） | | | |
| | 令和3年度末 | 5経営体 | 令和8年度 | 10経営体 |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|-----|
| 取組事項 | ①-2 スマート農業 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・金福すいかや越のルビー等の、特産農産物の栽培技術継承や作業の省力化を進めるために、栽培技術が優れた農家の圃場に、ICTを活用したモニタリング機器を設置します。機器から収集したデータを基に、栽培マニュアルを随時改訂します。 ・栽培マニュアル完成後、ICTを活用した機器を新規栽培農家等へ貸し出し、栽培技術の支援をします。 | | | |
| 担当所属 | 園芸センター | | | |
| 年度計画 | 令和4～6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術が優れた農家の圃場にモニタリング機器を設置 ・データを収集・分析し、栽培マニュアルを随時改訂 | | |
| | 令和7～8年度 | 新規栽培農家等が、完成した栽培マニュアルを基にICTを活用した機器を使用しながら栽培し、その結果をフィードバック | | |
| 目指す成果 | 新規栽培農家等の栽培技術習得による特産農産物の生産拡大、農業所得の向上 | | | |
| 数値目標 | 新規栽培農家等への、ICTを活用した機器の設置数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 10件 |

2 産業のDX

| | | | |
|-------|---|---|-----------------|
| 取組事項 | ② スマート林業 | | |
| 事業内容 | ドローンによる森林撮影や航空レーザーによる測量を行い、森林の境界線を電子化した森林境界図を作成します。 | | |
| 担当所属 | 林業水産課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | ・森林所有者等と森林境界を確認し、森林境界図を作成する。 ・森林境界図作成件数 12 林班※ | |
| | 令和5年度 | 森林境界図作成件数 12 林班 | |
| | 令和6年度 | 森林境界図作成件数 19 林班 | |
| | 令和7年度 | 森林境界図作成件数 31 林班 | |
| | 令和8年度 | 森林境界図作成件数 24 林班 | |
| 目指す成果 | 森林境界情報の電子化による、森林整備の促進 | | |
| 数値目標 | 電子化された森林境界図の林班数（累計） | | |
| | 令和3年度末 | 16 林班 | 令和8年度 114 林班 |

※林班…森林の区画の単位で、本市に 672 林班ある。

| | | | |
|-------|---|--------------------------|----------------|
| 取組事項 | ③ 新規 スマート漁業 | | |
| 事業内容 | 定置網漁業者の経営体に対して、潮の流れの速さ、波の高さなどの情報を発信する自動観測ブイの導入を支援します。 | | |
| 担当所属 | 林業水産課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | |
| | 令和5年度 | | |
| | 令和6年度 | 定置網漁業における自動観測ブイの導入 1 経営体 | |
| | 令和7年度 | | |
| | 令和8年度 | | |
| 目指す成果 | 自動観測ブイ設置による、出戻り回数減での作業コストの削減 | | |
| 数値目標 | 自動観測ブイ導入経営体数（累計） | | |
| | 令和3年度末 | 1 経営体 | 令和8年度 2 経営体 |

取組分野 (13) 商工業に関する取組



| | | | | |
|-------|--|--|-------|-----|
| 取組事項 | ① 新規 企業のDX推進 | | | |
| 事業内容 | DX等の手法を用いて自らの経営課題を解決し、競争力や企業価値の向上に向けた取組を支援します。 | | | |
| 担当所属 | 商工振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業者の人材育成や設備導入等を支援し、DX等への取組を推進する。 ・ 支援件数 10件/年 | | |
| 目指す成果 | 中小企業者のDX、デジタル化に関する取組の推進による、中小企業者の生産性・企業価値の向上 | | | |
| 数値目標 | 支援件数（累計） | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 50件 |

取組分野 (14) 観光に関する取組



| | | | | |
|-------|--|-----------------|-------|-------|
| 取組事項 | ①-1 多様な媒体を活用した観光情報の発信 | | | |
| 事業内容 | 福井市観光ポータルサイト内において、福井市に興味を持つ人、実際に訪れた観光客がワンストップで調べられるよう必要な情報を提供します。 | | | |
| 担当所属 | 観光振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | ポータルサイトの運用・維持管理 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の利便性向上 ・ 福井への誘客数増加 | | | |
| 数値目標 | ポータルサイトの年間閲覧件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 25万件 | 令和8年度 | 400万件 |

2 産業のDX

| | | | | |
|-------|--|---|-------|----------|
| 取組事項 | ①-2 新規 多様な媒体を活用した観光情報の発信 | | | |
| 事業内容 | 一乗谷朝倉氏遺跡のポータルサイトを開設するとともに復原町並及び一乗谷朝倉氏遺跡博物館にデジタルサイネージを設置し、天気、イベント、体験メニュー、見学ツアーの予約状況など一乗谷朝倉氏遺跡に関する最新情報を一元的に発信することで、見学者の利便性向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 文化振興課 一乗谷朝倉氏遺跡事務所 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | <ul style="list-style-type: none"> 一乗谷朝倉氏遺跡ポータルサイト構築 復原町並及び一乗谷朝倉氏遺跡博物館にデジタルサイネージを設置 令和4年10月から供用開始 | | |
| 目指す成果 | 一乗谷朝倉氏遺跡に関する最新情報の一元的な発信による、見学者の利便性向上 | | | |
| 数値目標 | 一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の入場者数 | | | |
| | 令和3年度末 | 120,000人 | 令和8年度 | 140,000人 |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|------|
| 取組事項 | ②-1 Wi-Fi 環境整備 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 現在整備している公衆Wi-Fi環境を維持管理し、市民や観光客の利便性向上を図ります。 5Gなどの先端通信技術の情報収集を行うとともに、その普及状況を踏まえて、今後の在り方を検討します。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> 整備済箇所の維持管理 先端通信技術の情報収集 福井市の公衆Wi-Fi整備のあり方について、関係所属と協議 | | |
| | 令和5~8年度 | <ul style="list-style-type: none"> 整備済箇所の維持管理 先端通信技術の情報収集 | | |
| 目指す成果 | 市民や観光客の利便性向上 | | | |
| 数値目標 | Wi-Fi提供エリア数 | | | |
| | 令和3年度末 | 9エリア | 令和8年度 | 9エリア |

| | | | | |
|-------|---|------------------|-------|---------|
| 取組事項 | ②-2 新規 Wi-Fi環境整備 | | | |
| 事業内容 | ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場において、利用者の利便性の向上を図るため、Wi-Fi環境の整備を行います。 | | | |
| 担当所属 | 観光振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | Wi-Fi環境の整備 | | |
| | 令和5~8年度 | Wi-Fi環境の適切な管理・運用 | | |
| 目指す成果 | 利用者が情報受信、発信しやすい環境の整備 | | | |
| 数値目標 | ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場の利用者数 | | | |
| | 令和3年度末 | 11,000人 | 令和8年度 | 16,500人 |

| | | | | |
|-------|---|--------------------|-------|---------|
| 取組事項 | ②-3 新規 Wi-Fi環境整備 | | | |
| 事業内容 | 養浩館庭園に整備したWi-Fi環境を適切に維持管理し、外国人観光客をはじめとした来園者の利便性向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 文化振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | Wi-Fi環境を適切に維持管理する。 | | |
| 目指す成果 | 外国人観光客をはじめとした来園者が情報受信、発信しやすい環境の整備 | | | |
| 数値目標 | 養浩館庭園の入園者数 | | | |
| | 令和3年度末 | 56,600人 | 令和8年度 | 74,500人 |

| | | | | |
|-------|--|-------------------------|-------|--------|
| 取組事項 | ③ キャッシュレス決済の推進 | | | |
| 事業内容 | 北陸新幹線延伸に向けて増加が見込まれる県外・海外からの観光客の利便性向上のため、市観光文化施設において多様なキャッシュレス決済手段に対応します。 | | | |
| 担当所属 | 商工振興課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | キャッシュレス決済の利用を利用者に呼びかける。 | | |
| 目指す成果 | 市観光文化施設のキャッシュレス決済対応による市民・観光客の利便性の向上 | | | |
| 数値目標 | キャッシュレス決済件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 1,500件 | 令和8年度 | 4,500件 |

2 産業のDX

| | | | |
|-------|--|---------------------------|--------------|
| 取組事項 | ④ インバウンド消費拡大支援 | | |
| 事業内容 | 福井の玄関口である中心市街地を中心に、インバウンド消費拡大支援アプリを充実し、外国人観光客の消費拡大を図ります。 | | |
| 担当所属 | 商工振興課 | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | インバウンド消費拡大支援アプリの機能の充実を図る。 | |
| 目指す成果 | インバウンド消費拡大支援アプリの充実による、観光客の利便性の向上 | | |
| 数値目標 | アプリユーザー数 | | |
| | 令和3年度末 | 1,600人 | 令和8年度 7,500人 |

基本目標：3 行政のDX

| | |
|------|--|
| 取組分野 | (15) 持続可能な行政運営に関する取組        |
|------|--|

| | | | | |
|-------|--|---|-------|------|
| 取組事項 | ① マイナポータル等の活用による各種申請の電子化の促進 重点取組事項 官民データ | | | |
| 事業内容 | マイナポータル（ぴったりサービス）や福井県電子申請・施設予約サービス（ふくe-ねっと）を活用して、行政手続のオンライン化を推進し、市民の利便性の向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 関係所属（行政DX推進課） | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 先行事業（27 手続）のオンライン化 ・ 先行事業以外のオンライン化に適した手続の選定、優先順位の検討 ・ 次期福井県電子申請・施設予約システムへの移行作業及び操作説明会等の実施 | | |
| | 令和5～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次期福井県電子申請・施設予約システム稼働 ・ マイナポータル（ぴったりサービス）又は次期福井県電子申請・施設予約システムにて、オンライン化に適した手続の順次オンライン化・運用 | | |
| 目指す成果 | 電子申請可能手続数の増加による、市民サービスの向上と業務効率の改善 | | | |
| 数値目標 | 電子申請可能手続数（率） | | | |
| | 令和3年度末 | 28 手続 | 令和8年度 | 100% |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|--|--|-------|---------|
| 取組事項 | ②-1 マイナンバーカードの普及促進 官民データ | | | |
| 事業内容 | マイナンバーカードを使った証明書のコンビニ交付サービスの利用を促進するため、カードの普及に取り組みます。 | | | |
| 担当所属 | 市民課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード申請、交付のための時間外窓口、休日窓口を開設する。 ・公民館や企業への出張申請を実施する。 | | |
| 目指す成果 | マイナンバーカードの活用による、市民サービスの利便性の向上、業務効率の改善 | | | |
| 数値目標 | コンビニ等での証明書発行件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 25,000件 | 令和8年度 | 55,000件 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------|----------|
| 取組事項 | ②-2 マイナンバーカードの普及促進 重点取組事項 | | | |
| 事業内容 | マイナンバーカードの申請の際に、タブレット端末を利用することで申請手続きの簡素化と申請時間の短縮を図り、カードの取得を進めます。 | | | |
| 担当所属 | 市民課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・窓口でタブレット端末を使用し、申請時間の短縮を図る。 ・出張申請で、タブレット端末、マイナアシストタブレット端末を使用し、申請時間の短縮を図る。 | | |
| 目指す成果 | タブレット端末の利用による、マイナンバーカード申請手続きの簡素化と申請時間の短縮 | | | |
| 数値目標 | タブレット端末を利用した出張申請数 | | | |
| | 令和3年度末 | 100件 | 令和8年度 | 毎年100件以上 |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|--------|
| 取組事項 | ②-3 マイナンバーカードの普及促進 官民データ | | | |
| 事業内容 | 住民票等の証明書の申請や住所異動などを行う際に、手書きによる申請書の記入負担を軽減するため、マイナンバーカードを活用して、氏名、住所などを申請書に自動で印字する申請書作成支援システムの利用を促進します。 | | | |
| 担当所属 | 市民課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | ・マイナンバーカードを所持している方に申請書作成支援システムの利用を積極的にすすめる。 | | |
| | 令和5～8年度 | ・マイナンバーカードを所持している方に申請書作成支援システムを知らせ、使用を案内する。 ・申請書作成支援システムの継続使用の検討(令和7年度) | | |
| 目指す成果 | 申請書作成支援システムの活用による、申請書記入の負担軽減 | | | |
| 数値目標 | 利用件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 1,000件 | 令和8年度 | 2,000件 |

| | | | | |
|-------|---|---------------------|-------|---------|
| 取組事項 | ③ マイキープラットフォームによる地域活性化への取組 官民データ | | | |
| 事業内容 | 国のマイナポイント事業に合わせて手続支援を行います。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | マイナポイント手続支援窓口を開設する。 | | |
| 目指す成果 | 市民のマイナポイント手続の負担軽減 | | | |
| 数値目標 | マイナポイント手続支援件数(累計) | | | |
| | 令和3年度末 | 39,221件 | 令和5年度 | 70,000件 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|--|-------|------|
| 取組事項 | ④ 統計調査・ビッグデータ・オープンデータの活用 その他の取組事項 官民データ | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹統計や行政情報を庁内データベースに蓄積し、行政施策の推進や官民における課題解決を図ります。 ・ シビックテックの活動に活かせるよう、市が保有する行政情報を「福井市オープンデータパーク」に集約し、充実を図ります。 ・ 職員の統計活用への理解と分析力の向上を図るため、研修機会を提供します。 | | | |
| 担当所属 | 関係所属（行政DX推進課） | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に活用できるオープンデータの充実を図る。 ・ 最新情報の提供に向け、全庁的な調査を行い、データの更新を図る。 ・ 基幹統計等の国や県が公表している統計データ等を蓄積する。 ・ 職員の統計リテラシーを向上するため研修機会を提供する。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広いニーズに対応した統計データ等の整備と官民におけるデータ利活用の促進 ・ ビッグデータや統計情報等の分析による、行政課題の解決や施策への活用 | | | |
| 数値目標 | 福井市オープンデータパーク累計掲載データ数 | | | |
| | 令和3年度末 | 122件 | 令和8年度 | 130件 |

| | | | |
|-------|---|--|--------------|
| 取組事項 | ⑤ 多様な媒体を活用した行政情報の発信 | | |
| 事業内容 | ソーシャルメディアやアプリなど、情報通信技術の進展に対応するとともに、情報発信メディア（広報紙、テレビ・ラジオ、インターネット）を活用して行政情報や市民活動の情報を市民にわかりやすく提供します。 | | |
| 担当所属 | 広報プロモーション課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の進展に対応しながら、広報紙やテレビ、ソーシャルメディアなど複数のメディアを活用し、広く情報発信を行う。 ・クロスメディア件数 1,800件 | |
| | 令和5年度 | クロスメディア件数 2,100件 | |
| | 令和6年度 | クロスメディア件数 2,300件 | |
| | 令和7年度 | クロスメディア件数 2,400件 | |
| | 令和8年度 | ↓クロスメディア件数 2,500件 | |
| 目指す成果 | 広報紙やテレビ、ソーシャルメディアなど複数の情報発信メディアを活用した市政の情報の分かりやすく、効果的な発信 | | |
| 数値目標 | クロスメディア件数 | | |
| | 令和3年度末 | 1,488件 | 令和8年度 2,500件 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|--|-------|------|
| 取組事項 | ⑥ 新規 自治体の情報システムの標準化・共通化 重点取組事項 官民データ | | | |
| 事業内容 | 住民記録、地方税、福祉など、自治体の主要な20業務を処理するシステムについて、国が策定する仕様書に基づいて開発される標準準拠システムへ令和7年度までに円滑に移行できるよう事業を進めます。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> 標準仕様との比較分析 移行計画作成 情報提供依頼（RFI※）資料の作成 | | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> RFIの実施 RFI結果分析及び移行計画の詳細化 予算要求 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ベンダへ提案依頼（RFP※） ベンダ選定、契約・詳細スケジュールの確定 特定個人情報保護評価（PIA※） | | |
| | 令和7年度 | <ul style="list-style-type: none"> システム移行時の設定 データ移行 テスト研修 次期情報システム環境構築 条例・規定等改正 一部運用開始 | | |
| | 令和8年度 | 標準準拠システムの本格運用 | | |
| 目指す成果 | 標準準拠システムへの円滑な移行 | | | |
| 数値目標 | 標準準拠システムへの移行に関する進捗率 | | | |
| | 令和3年度末 | 11.7% | 令和8年度 | 100% |

※RFI…Request For Information の略。情報システムの導入や業務委託を行うに当たり、発注先候補の業者に情報提供を依頼すること。調達条件などを決定するために必要な情報を集めるために発行するもので、一般的にはこれを基にRFPを作成し、具体的な機能要件の提案業者に求めて発注先の選定に移る。

※RFP…Request For Proposal の略。情報システムの導入や業務委託を行うに当たり、発注先候補の業者に具体的な提案を依頼する文書。必要なシステムの概要や構成要件、調達条件が記述されている。

※PIA…Privacy Impact Assessment の略。特定個人情報ファイルを保有しようとする又は保有する国の行政機関や地方公共団体等が、個人のプライバシー等の権利利益に与える影響を予測した上で特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを分析し、そのようなリスクを軽減するための適切な措置を講ずることを宣言するもの。

| | | | | |
|-------|--|--|-------|------|
| 取組事項 | ⑦ 地域情報プラットフォームの普及・推進 官民データ | | | |
| 事業内容 | 標準化対象以外のシステムについて、他のシステムとの円滑な連携や、データの二次利用を促進するため、業務システム間の連携を可能にする地域情報プラットフォーム標準仕様に合わせたシステムの導入を行います。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | 地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠した次期総合行政情報システムの選定方法等の検討 | | |
| | 令和5年度 | 次期総合行政情報システム（標準準拠システムを除く）の構築事業者の選定 | | |
| | 令和6年度 | 次期総合行政情報システム（標準準拠システムを除く）の構築 | | |
| | 令和7～8年度 | 次期総合行政情報システムの本格運用（令和7年4月～） | | |
| 目指す成果 | 業務システムの連携による、円滑なシステム運用 | | | |
| 数値目標 | 地域情報プラットフォーム標準仕様準拠割合 | | | |
| | 令和3年度末 | 100% | 令和8年度 | 100% |

| | | | | |
|-------|---|----------------------------------|-------|----------------------------|
| 取組事項 | ⑧-1 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 軽自動車税事務手続きの電子化に対応することにより、適正な税務事務の遂行及び市民サービスの向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 市民税課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | 軽自動車税事務手続きの電子化に対応するため、システム改修を行う。 | | |
| | 令和5～8年度 | 事業者に対しホームページ等で周知する。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> 適正な税務事務の遂行 市民サービスの向上 | | | |
| 数値目標 | <ul style="list-style-type: none"> 申告書の入力に要する業務時間の削減 継続検査用納税証明書の発行枚数の削減 | | | |
| | 令和3年度末 | ・ 500 時間/年 ・ — | 令和8年度 | ・ 170 時間/年 ・ 発行枚数 90%削減 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|--|---|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-2 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 民間事業者によるデジタル化した預貯金等の照会・回答業務を導入し、迅速かつ適正な事務の執行を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 納税課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | デジタル化した預貯金等の照会・回答業務を導入し、業務に要する紙資源の削減と、封入や集計作業等の業務時間削減に取り組む。 | | |
| | 令和5~8年度 | デジタル化した預貯金等の照会・回答業務を継続し、さらなる紙資源の削減と、封入や集計作業等の業務時間削減に取り組む。 | | |
| 目指す成果 | デジタル化した預貯金等の照会・回答業務の導入による業務効率の改善 | | | |
| 数値目標 | 照会、回答業務に要する業務時間の削減 | | | |
| | 令和3年度末 | 950 時間/年 | 令和8年度 | 830 時間/年 |

| | | | | |
|-------|--|---|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-3 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 市民課窓口等の混雑状況を、市ホームページ上で周知することで、来庁者による混雑を緩和するとともに閑散時間帯へ誘導し、コロナ禍における3密を回避するため、「混雑ランプ」のシステムを活用します。 | | | |
| 担当所属 | 市民課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~6年度 | 「混雑ランプ」の日々の更新、ホームページの見直し | | |
| | 令和7年度 | ・「混雑ランプ」の日々の更新、ホームページの見直し ・導入後5年を経過するため、社会情勢、他のシステムと比較するなど、継続使用について検討する。 | | |
| | 令和8年度 | 「混雑ランプ」の日々の更新、ホームページの見直し | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者の混雑緩和 ・閑散時間帯への誘導による、コロナ禍における3密の回避 | | | |
| 数値目標 | 混雑ランプバナーへのアクセス数 | | | |
| | 令和3年度末 | 20,000 件 | 令和8年度 | 25,000 件 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|-------|
| 取組事項 | ⑧-4 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 双方向コミュニケーションアプリや、翻訳アプリ、地図アプリ等をインストールしたタブレット端末を導入し、外国人への対応や観光案内などに活用します。 | | | |
| 担当所属 | 市民サービス推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使用状況を検証し、需要が見込まれる場合にはデータ容量、台数、アプリの追加を適宜行い、使用環境の充実をはかる。 ・タブレットのさらなる活用について検討する。 | | |
| 目指す成果 | ICTの利活用による市民の利便性向上 | | | |
| 数値目標 | タブレット利用による窓口サービスの満足度 | | | |
| | 令和3年度末 | 80%以上 | 令和8年度 | 80%以上 |

| | | | | |
|-------|-----------------------------------|---|-------|-----|
| 取組事項 | ⑧-5 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | タブレット端末を有効活用し、窓口業務のサービス向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 障がい福祉課 | | | |
| 年度計画 | 令和4~8年度 | 手話通訳を必要とする聴覚障がいのある方が来庁した際に、タブレット端末を利用して手話通訳士を呼び、窓口の対応を行う。 | | |
| 目指す成果 | タブレット端末の導入による、市民サービス向上 | | | |
| 数値目標 | 相談件数に占めるタブレット端末の利用率 | | | |
| | 令和3年度末 | 1% | 令和8年度 | 10% |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|--|-------|-----|
| 取組事項 | ⑧-6 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有システムの活用による迅速な工事帳票処理の実現や受発注者間のコミュニケーションの円滑化を図ります。 ・遠隔臨場による移動時間の短縮・作業の効率化を図るための実施要領等を策定し、公共工事の生産性向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 技術管理課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等での利用促進 ・操作研修会の開催 ・遠隔臨場に関する実施要領を策定 | | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等での利用促進 ・操作研修会の開催 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等での利用促進 ・操作研修会の開催 ・情報共有システム対象工事拡大（対象設計金額の引下げ）の検討 | | |
| | 令和7～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等での利用促進 ・操作研修会の開催 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・受発注者間のコミュニケーションの円滑化 ・公共工事の生産性向上 | | | |
| 数値目標 | 遠隔臨場の実施件数 | | | |
| | 令和3年度末 | 0件 | 令和8年度 | 20件 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|------|
| 取組事項 | ⑧-7 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | タブレット端末の活用により、農業委員会業務の効率化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 農業委員会事務局 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・福井県農業会議より農業委員、農地利用最適化推進委員に対し、タブレット端末を配布 ・操作方法の研修を開催 | | |
| | 令和5～8年度 | 運用 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・定例会資料のデジタル化ペーパーレス化 ・農地地図データを活用し、現地調査の省力化 ・緊急時におけるリモートによる定例会の開催 | | | |
| 数値目標 | タブレット端末の整備率 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 100% |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-8 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 電子申告（eLTAX）で提出された法人市民税の申告書を、データのまま取り込み管理することができる画像イメージ管理システムを導入し、事務の効率化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 市民税課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | イメージ管理システムの導入 | | |
| | 令和5～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・イメージ管理システムの運用 ・イメージ管理システムの保守 | | |
| 目指す成果 | 法人市民税イメージ管理システムの導入による作業時間等の削減 | | | |
| 数値目標 | 作業時間の削減 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 420 時間/年 |

※令和5年度から追加

| | | | | |
|-------|---|---------------|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-9 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子申告（eLTAX）で提出された各種資料等データを直接イメージ管理システム(TOMAS)に取り込み、イメージ化できるようシステムを改修し、事務の効率化を図ります。 ・パンチデータ及び電子申告（eLTAX）データを活用し、直接イメージ管理システム(TOMAS)にデータを取り込みができるように、イメージ管理システム(TOMAS)を改修し、事務の効率化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 市民税課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | イメージ管理システムの改修 | | |
| | 令和5～8年度 | イメージ管理システムの運用 | | |
| 目指す成果 | 個人住民税イメージ管理システムの改修による作業時間等の削減 | | | |
| 数値目標 | 作業時間の削減 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 400 時間/年 |

※令和5年度から追加

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|----------|-------|-------|
| 取組事項 | ⑧-10 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 相談内容を的確に把握し、斡旋解決の迅速化を図るため、デジタルツールを用い、メール、非対面を活用した相談受付体制を整備し、消費生活相談窓口の情報化対応を推進します。 | | | |
| 担当所属 | 市民サービス推進課 消費者センター | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5～8年度 | 相談業務の効率化 | | |
| 目指す成果 | 相談者負担の軽減 | | | |
| 数値目標 | 消費生活相談におけるタブレット使用回数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 55回/年 |

※令和5年度から追加

| | | | | |
|-------|--|---|-------|-----|
| 取組事項 | ⑧-11 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 水道スマートメーターを試験的に導入し、遠隔通信で検針結果を管理できるようにすることにより、業務の効率化、市民サービスの向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 経営管理課、上下水道サービス課、給水管理事務所 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | 導入自治体調査 | | |
| | 令和5～6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・スマートメーターの試験導入 ・課題の分析、効果検証 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・検針、徴収業務の効率化、人件費の削減 ・検針データの見える化等による市民サービスの向上 ・漏水の早期検知による節水 | | | |
| 数値目標 | スマートメーターの導入台数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和6年度 | 50台 |

※令和5年度から追加

| | | | | |
|-------|---|-------------------|-------|-----|
| 取組事項 | ⑧-12 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 下水道GISシステム（管路台帳）をタブレット端末でも閲覧できるようにすることにより、陥没、閉塞等の緊急対応や水防業務及び災害対応における迅速な対応を可能とします。 | | | |
| 担当所属 | 下水管路課、下水管路課 雨水対策室 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | 下水道GISシステムのタブレット化 | | |
| | 令和5～8年度 | タブレット端末の運用 | | |
| 目指す成果 | 陥没、閉塞等の緊急対応や水防業務及び災害対応における迅速化 | | | |
| 数値目標 | 下水道GISシステムのタブレット端末を活用した現場の使用件数割合 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 70% |

※令和5年度から追加

| | | | | |
|-------|---|-------------------------------------|-------|-----|
| 取組事項 | ⑧-13 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 庁内LANに接続可能なタブレット端末を導入し、現場でのマッピングシステム活用・オンプレミス型遠隔臨場システムの構築などを行い、現場対応の迅速化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 水道管路課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | ・タブレット端末の導入 ・基盤技術の構築 ・運用手順の作成 | | |
| | 令和6年度 | タブレット端末の増台 | | |
| | 令和7年度 | ・他DXと連動した、運用手順の再構築 ・タブレット端末の増台 | | |
| | 令和5～8年度 | タブレット端末の運用 | | |
| 目指す成果 | ・現場対応の迅速化 ・現場に持参する印刷物（紙図面）の削減 | | | |
| 数値目標 | 全現場対応件数に対する、タブレットの使用件数割合 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 70% |

※令和5年度から追加

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|--|--|-------|-----|
| 取組事項 | ⑧-14 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 現在、使用している配水情報配信システムのe' Meister（イーマイスター）を、企業局内のネットワーク接続端末だけではなく、点検や作業時、緊急時の災害、事故等の際に、現場でモバイル端末等による遠隔利用し、正確な情報を把握することで、作業の効率化及び迅速性を図れるよう、環境を整備します。 | | | |
| 担当所属 | 浄水管理事務所 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | | | |
| | 令和5年度 | 情報遠隔利用システムの構築、試験運用 | | |
| | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報遠隔利用の運用 ・運用状況を踏まえ、ハード面の増設整備の検討 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央監視室、浄水管理事務所、現場職員間の情報の共有化 ・各施設の点検や作業時の効率化 ・緊急対応時の迅速化 | | | |
| 数値目標 | 作業時や緊急時の現場対応件数に対する、モバイル端末を活用した現場の使用件数割合 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 70% |

※令和5年度から追加

| | | | | |
|-------|---|---|-------|-----------|
| 取組事項 | ⑧-15 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 固定資産税の土地・家屋評価を正確に行うために、現況調査にタブレットを活用することで、事務の効率化・省力化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 資産税課 | | | |
| 年度計画 | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット導入(R6) ・データ更新 ・機能追加・削除の検討 | | |
| | | | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・賦課業務のデジタル化による効率化 ・課内、係間での情報共有の効率化 | | | |
| 数値目標 | 現況調査に使用する紙資料の削減 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 57,500枚/年 |

※令和6年度から追加

| | | | | |
|-------|--|--|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-16 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 各種証明書の申請から受け取りまでが自宅等で可能になるオンライン申請システムを導入し、行かない窓口を整備する。 | | | |
| 担当所属 | 市民課 | | | |
| 年度計画 | 令和6～8年度 | ・各種証明書のオンライン申請システムの導入(R6) ・各種証明書のオンライン申請システムの運用 | | |
| 目指す成果 | ・市民サービスの向上 ・郵送請求事務における職員の事務量の軽減 | | | |
| 数値目標 | オンライン申請での証明書発行件数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 1,300件/年 |

※令和6年度から追加

| | | | | |
|-------|---|-------------------------------|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-17 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 補助金申請に係る農作物の作付確認業務について、衛星画像解析を活用して確認を行うことで現地確認対象ほ場数を減らし、業務の軽減を図ります。 また、民間事業者と連携して開発した現地確認アプリを活用することで、これまで紙地図で行ってきた現地確認業務を効率化します。 | | | |
| 担当所属 | 農政企画課 | | | |
| 年度計画 | 令和6～8年度 | ・衛星画像解析による作付確認 ・現地確認アプリの活用 | | |
| 目指す成果 | ・現地確認業務の効率化 | | | |
| 数値目標 | 衛星画像解析による確認ほ場数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 4,000筆/年 |

※令和6年度から追加

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|-------------------|-------|----------|
| 取組事項 | ⑧-18 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 県民衛星「すいせん」データの活用により、山地等の災害対応のスピードアップを図るとともに、地域住民の負担軽減と安全確保を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 林業水産課 | | | |
| 年度計画 | 令和6～8年度 | ・災害確認支援システムの導入・運用 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害の発生状況を把握し、適切な調査ルートを選定、調査時間短縮、調査箇所の優先度決定等の精度向上 ・市役所内の情報共有を図り、災害対応がスピードアップ ・災害時に情報を提供してくれる山地保全監視モニター、農家組合等の負担軽減および安全確保 | | | |
| 数値目標 | 1人当たりの災害時の調査時間の短縮 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 59時間/年・人 |

※令和6年度から追加

| | | | | |
|-------|---|---|-------|---------|
| 取組事項 | ⑧-19 新規 窓口サービス向上、行政事務の効率化に向けたシステム等の活用 | | | |
| 事業内容 | 窓口において紙で交付している道路台帳図面をインターネット上に公開するシステムを構築し、窓口における交付請求者が来庁する手間が省けるといった利便性向上を図るとともに、業務の効率化を推進します。 | | | |
| 担当所属 | 監理課 | | | |
| 年度計画 | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・システム構築(R6) ・システム運用・保守 | | |
| 目指す成果 | 市民、事業者が道路台帳図面をインターネット上で受け取ることができ、利便性が向上するとともに、業務の効率化が進む。 | | | |
| 数値目標 | 作業時間の削減 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 162時間/年 |

※令和6年度から追加

| | | | | |
|-------|---|--|-------|----|
| 取組事項 | ⑨ セキュリティ対策の徹底 重点取組事項 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・国のセキュリティポリシーガイドラインを踏まえ、必要に応じてセキュリティポリシーの見直しを行うなど、セキュリティ対策を徹底します。 ・福井県内の自治体や、民間企業で構成するサイバーテロ協議会において、サイバー攻撃の情報収集を行います。 ・セキュリティ研修の受講機会を増やし、セキュリティ人材の育成を行います。 ・次期総合行政情報システム更新に合わせ、新たなネットワーク環境について検討を行い、安全で効率的な環境を構築します。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・次期総合行政情報システム更改に伴うセキュリティ対策の検討及びセキュリティポリシーの見直し ・セキュリティ研修の実施 ・新たなネットワーク環境の在り方についての検討 ・セキュリティ内部監査の実施 ・サイバーテロ対策協議会において情報収集 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティポリシーの見直し ・セキュリティ研修の実施 ・新たなネットワーク環境の構築 ・セキュリティ内部監査の実施 ・サイバーテロ対策協議会において情報収集 | | |
| | 令和7～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティポリシーの見直し ・セキュリティ研修の実施 ・新たなネットワーク環境の運用 ・セキュリティ内部監査の実施 ・サイバーテロ対策協議会において情報収集 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報資産の機密性、完全性及び可用性の維持 ・安定した行政サービスの提供 | | | |
| 数値目標 | 情報セキュリティに関する研修の実施 | | | |
| | 令和3年度末 | 4回 | 令和8年度 | 4回 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|--------------------------------|-------|-----|
| 取組事項 | ⑩ 新規 キャッシュレス決済の推進 | | | |
| 事業内容 | 市民の利便性向上のため、市民課窓口での証明書発行手数料を対象にキャッシュレス決済を導入します。 | | | |
| 担当所属 | 市民課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | キャッシュレス決済の導入 | | |
| | 令和5～6年度 | キャッシュレス決済の利用状況から、取扱窓口の拡大を検討する。 | | |
| | 令和7年度 | 連絡所等での取り扱いを検討 | | |
| | 令和8年度 | 検討結果を受け、連絡所等にキャッシュレス決済を導入 | | |
| 目指す成果 | キャッシュレス決済導入による、市民サービスの向上 | | | |
| 数値目標 | キャッシュレス決済設置数 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 4か所 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|------|
| 取組事項 | ⑩-1 新規 行政事務の電子化の推進 官民データ | | | |
| 事業内容 | 押印省略の推進、電子決裁の推進及び文書(電磁的記録)保存方法の見直しを行い、文書事務の電子化、効率化、ペーパーレス化の推進を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 文書法制課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 押印省略の推進、文書事務の電子化の推進 ・ 押印の見直し調査を年1回実施し、押印省略を推進する。 ・ 電子決裁、文書(電磁的記録)保存の調査を全庁的に実施し現状を把握・他市に対する調査の実施及び資料の収集 ・ 現在適用している電子決裁の基準の見直し、文書(電磁的記録)保存の期間・範囲・適切な廃棄方法等を整備するとともに文書管理規程を見直す。 ・ 見直した基準を庁内掲載等で周知し、実施を促す。 | | |
| 目指す成果 | 事務の電子化、効率化、ペーパーレス化の推進による、効率的な業務の達成 | | | |
| 数値目標 | 文書決裁事務の電子化率 | | | |
| | 令和3年度末 | 5.8% | 令和8年度 | 100% |

| | | | |
|-------|---|---|-------|
| 取組事項 | ①-2 新規 行政事務の電子化の推進 官民データ | | |
| 事業内容 | 令和4年度末までに、電子契約の導入に向けた課題整理や関連する業務等の見直しを実施した上で、令和5年4月から電子契約の運用を開始します。 | | |
| 担当所属 | 契約課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | 電子契約の導入に向けた課題整理や関連する業務等の見直しを行う。 | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> 電子契約の運用を行う。 電子契約による契約件数 250件 | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 電子契約の運用を行う。 電子契約による契約件数 500件 | |
| | 令和7年度 | <ul style="list-style-type: none"> 電子契約の運用を行う。 電子契約による契約件数 750件 | |
| | 令和8年度 | <ul style="list-style-type: none"> 電子契約の運用を行う。 電子契約による契約件数 1,000件 | |
| 目指す成果 | 電子契約を導入することによる市民（事業者）の負担軽減や利便性の向上、業務効率の改善 | | |
| 数値目標 | 電子契約による契約件数 | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 |

| | | | |
|-------|--|---|-------|
| 取組事項 | ①-3 新規 行政事務の電子化の推進 官民データ | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 入札参加資格申請のオンライン利用を促進します。 オンラインで受付した入札参加資格申請のデータを活用するため、工事管理システムを改修します。 | | |
| 担当所属 | 契約課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> 工事管理システムの改修 オンライン申請の利用促進 | |
| | 令和5～8年度 | オンライン申請の利用促進 | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> オンライン申請による事業者の事務負担軽減 システム改修による業務効率化 | | |
| 数値目標 | オンライン申請の利用率 | | |
| | 令和3年度末 | 2% | 令和8年度 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|--|--|-------|------|
| 取組事項 | ⑪-4 新規 行政事務の電子化の推進 その他の取組事事項 | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 支出や収入に必要な書類の電子化を進め、手作業による処理に要する時間を削減します。 ・ 会計書類審査の効率化を図るため、システムを改修します。 ・ 金融機関のDXの取組や市民生活へのデジタル化の浸透に対応するための環境整備を進めます。 | | | |
| 担当所属 | 出納課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定金融機関、関係所属と協議し、会計事務DX化推進基本計画を策定する。 ・ 他市の状況や、全国的な流れを調査研究する。 | | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新財務システムの運用に向け、関係所属と規則の改正等環境整備について検討を進める。 ・ 他市の状況や、全国的な流れを調査研究する。 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新財務システムのスムーズな運用に向け、手引き等の準備をする。 ・ 他市の状況や国の動き、金融機関の取組を調査研究する。 | | |
| | 令和7年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新財務システムの運用に合わせ、会計事務の効率化について、他市の状況や国の動き、金融機関の取組を調査研究する。 | | |
| | 令和8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新財務システムによる事務の改善内容を検証し、新財務システムの運用の見直しを行う。 ・ 他市の状況や国の動き、金融機関の取組を調査研究する。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス化による、業務効率化、経費削減 ・ システム改修による、業務効率化、ヒューマンエラーの未然防止 | | | |
| 数値目標 | 支出や収入に必要な事務の電子化率 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 100% |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|-----|
| 取組事項 | ⑫-1 新規 デジタル人材の確保・育成 官民データ | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して、GIS研修や Access 研修を実施するとともに、国及び県が実施する統計や電子申請、情報セキュリティなどに関する各種研修等を活用し、研修の受講機会を増やします。 ・DX推進リーダーを設置し、その育成を目的とした研修を実施します ・リモートラーニングや動画研修などを積極的に取り入れ、より多くの職員が研修を受講できる環境づくりに努めます。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル人材育成に向けた各種研修の実施 ・DX推進リーダーの設置及び育成研修の実施 ・デジタル人材の育成に資する研修の情報収集 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員のDX機運醸成及び庁内のDX推進体制強化 ・デジタル人材の育成による業務の効率化及び生産性向上 | | | |
| 数値目標 | 研修回数 | | | |
| | 令和3年度末 | 9回 | 令和8年度 | 22回 |

| | | | | |
|-------|---|---|-------|-----|
| 取組事項 | ⑫-2 新規 デジタル人材の確保・育成 官民データ | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進の核となる職員を対象に、高度かつ専門的な知識・技能等の習得を目的とした派遣研修を実施するとともに、管理職層を対象とした研修によって組織のデジタルリテラシーの向上を図ります。 ・研修機材の充実や外部人材との交流等、研修環境の向上を図ります。 ・民間企業の専門的人材の派遣受入のほか、特定任期付職員の採用等についても検討を進めます。 | | | |
| 担当所属 | 職員課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門機関への派遣研修、管理職層への特別研修の推進 ・研修環境の向上 ・専門的人材の派遣受入、採用等についての検討 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進を牽引する専門的人材の確保、育成 ・組織のDX意識の涵養 | | | |
| 数値目標 | 自治大学校等、専門機関での研修受講者数（累計） | | | |
| | 令和3年度末 | 0人 | 令和8年度 | 20人 |

3 行政のDX

| | | | |
|-------|--|--|------|
| 取組項目 | ⑫-3 新規 デジタル人材の確保・育成 官民データ | | |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・国の「地域活性化起業人事業」を活用し、本市と地方創生に関する包括連携協定を締結している「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」から業務改善等に精通した中堅社員1名の派遣を受け入れます。 ・DXを活用した業務改善を進める観点から、業務の効率化やスピーディーな行政サービスの提供体制を構築します。 | | |
| 担当所属 | 職員課 | | |
| 年度計画 | 令和4～5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化起企業人事業を活用して、令和4年度から2年間民間の人材を受け入れる。 ・当該人材を行政改革部門に配置し、DXの活用を念頭に業務効率化や行政サービスの利便性向上に取り組む。 | |
| | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4～5年度に取り組んだモデルケースをベースに、DXを活用した業務改善の取組を全庁的に推進する。 | |
| 目指す成果 | 企業経営の視点で、DXを活用した業務の効率化や行政サービスの利便性向上を図る。 | | |
| 数値目標 | DXを活用した業務の効率化や行政サービスの利便性向上が図られた事務・事業の件数 | | |
| | R3年度末 | — | R8年度 |

| | | | |
|-------|--|---|-------|
| 取組事項 | ⑬-1 AI・RPAの活用 重点取組事項 | | |
| 事業内容 | AIを活用したチャットボットを運用し、24時間365日市民からの問合せに自動応答を行うとともに、電話やメールへの対応の事務軽減、窓口対応時間の短縮や混雑の回避に繋がります。 | | |
| 担当所属 | 広報プロモーション課 | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・AIチャットボットの運用 ・利用状況の分析に応じたQ&Aのメンテナンス ・利用促進のための周知・広報 | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・AIチャットボットの運用 ・利用状況の分析に応じたQ&Aのメンテナンス ・利用促進のための周知・広報 ・利用状況や費用対効果を踏まえ、サービス内容や契約形態の再検討を実施 | |
| | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・AIチャットボットの運用 ・利用状況の分析に応じたQ&Aのメンテナンス ・利用促進のための周知・広報 | |
| 目指す成果 | AIチャットボットの利便性向上による利用数の増加 | | |
| 数値目標 | チャットボット年間利用数 | | |
| | 令和3年度末 | 144,576件 | 令和8年度 |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|------------|
| 取組事項 | ⑬-2 AI・RPAの活用 重点取組事項 | | | |
| 事業内容 | RPA導入効果の周知を職員に対して行うとともにシナリオ作成支援や研修等を実施し、定型的な事務作業の自動化を推進します。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～5年度 | シナリオ作成支援によるRPA導入業務の拡大 | | |
| | 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> シナリオ作成支援によるRPA導入業務の拡大 次期総合行政情報システムへの移行対応を検討 | | |
| | 令和7年度 | <ul style="list-style-type: none"> シナリオ作成支援によるRPA導入業務の拡大 次期総合行政情報システムに対応したシナリオ作成及び改修支援 | | |
| | 令和8年度 | シナリオ作成支援によるRPA導入業務の拡大 | | |
| 目指す成果 | RPAの導入による業務効向上 | | | |
| 数値目標 | RPAの導入による業務削減時間（年間換算） | | | |
| | 令和3年度末 | 1,315 時間 | 令和8年度 | 5,000 時間以上 |

| | | | | |
|-------|---------------------------------------|--|-------|------------|
| 取組事項 | ⑬-3 新規 AI・RPAの活用 重点取組事項 | | | |
| 事業内容 | AI議事録作成支援システムを導入し業務効率化を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> AI議事録作成支援システム導入に向けたデモ、トライアルの実施 AI議事録作成支援システム導入による業務効率化の検証 | | |
| | 令和5～8年度 | AI議事録作成支援システムの運用 | | |
| 目指す成果 | AI議事録作成支援システムの導入による業務効率化 | | | |
| 数値目標 | AI議事録作成支援システムの導入による業務削減時間 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 1,200 時間以上 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|--|--|-------|-----|
| 取組事項 | ⑭-1 Web会議の活用 官民データ | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策や業務効率化などのため、Web会議環境を適正に維持管理します。 ・職員が会議や打合せ等にWeb会議を活用できるよう、Web会議用PCの操作研修会を開催します。 | | | |
| 担当所属 | 関係所属（行政DX推進課） | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・Web会議用PCの維持管理 ・Web会議の活用による業務の効率化 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染リスクの回避 ・会議等の参加に伴う移動時間、交通費の削減 | | | |
| 数値目標 | 貸出用Web会議用PC数 | | | |
| | 令和3年度末 | 30台 | 令和8年度 | 30台 |

| | | | | |
|-------|--|--|-------|--------|
| 取組事項 | ⑭-2 Web会議の活用 官民データ | | | |
| 事業内容 | Web会議（Zoom等）を活用し、会議や営業、イベント等の多様なコミュニケーションを通じ、効率的な情報共有や関係人口の創出・拡大に繋がります。 | | | |
| 担当所属 | 東京事務所 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | Web会議システムを活用し、本庁や首都圏関係者との会議・営業やオンラインを活用したイベントの実施 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間や場所を制限されないWeb会議の活用による、効率的な業務の遂行、情報共有 ・イベント開催において、会場以外からの参加が可能となることによる、関係人口の創出・拡大 | | | |
| 数値目標 | 福井市応援隊会員 | | | |
| | 令和3年度末 | 約780人 | 令和8年度 | 1,400人 |

| | | | | |
|-------|--|---|-------|-----|
| 取組事項 | ⑭-3 Web会議の活用 官民データ | | | |
| 事業内容 | 工事現場での立会等をリモートで行うことで、移動時間の短縮など立会業務の省力化を図り、受発注者双方の生産性を向上させます。 | | | |
| 担当所属 | 下水管路課 雨水対策室 | | | |
| 年度計画 | 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場の立会等に機材の貸し出しによるリモート（遠隔臨場）を実施 ・受発注者双方にアンケート調査等を実施し、効果や課題について検証 | | |
| | 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・下水管路課（雨水対策室）における工事受注者への機材貸し出しによるリモート（遠隔臨場）を終了 ※次年度より業者所有機材での実施に移行 ・水防や緊急対応等の業務に活用 | | |
| | 令和6～8年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・水防や緊急対応等の業務に活用 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の時間外勤務の縮減 ・建設業の労働環境の改善 | | | |
| 数値目標 | 現場件数（年間） | | | |
| | 令和3年度末 | 4件 | 令和8年度 | 12件 |

| | | | | |
|-------|---|--|-------|------|
| 取組事項 | ⑮ テレワークの推進 重点取組事項 官民データ | | | |
| 事業内容 | 職員の勤務形態の一つとしてテレワークを導入することにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止や、通勤時間等の活用によるワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 職員課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 「福井市職員テレワーク勤務制度」の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークパソコンを活用し、在宅にて業務を行う。 ・通勤時間の有効活用や業務の効率化に資する。 ・実施者へのアンケート等を踏まえ、制度内容を適宜見直していく。 | | |
| 目指す成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの活用による新型コロナウイルス感染症拡大防止 ・職員のワーク・ライフ・バランスの充実 | | | |
| 数値目標 | テレワーク利用職員数 | | | |
| | 令和3年度末 | 100名 | 令和8年度 | 160名 |

3 行政のDX

| | | | | |
|-------|---|---------------------------------|-------|-----|
| 取組事項 | ⑩ 先進情報技術の活用 | | | |
| 事業内容 | IoTやAI、5G（第5世代移動通信システム）など、先進情報技術の活用や整備について検討し、業務効率の改善や市民サービスの向上を図ります。 | | | |
| 担当所属 | 行政DX推進課 | | | |
| 年度計画 | 令和4～8年度 | 民間事業者との連携により先進情報技術について情報収集、活用検討 | | |
| 目指す成果 | 先進情報技術の導入による事務の効率化と市民サービスの向上 | | | |
| 数値目標 | 先進情報技術を活用した新たな施策 | | | |
| | 令和3年度末 | — | 令和8年度 | 2以上 |

〒910-8511
福井市大手3丁目10番1号
福井市 総務部 行政DX推進課
TEL：0776-20-5671
FAX：0776-20-5732
E-mail：dx-suishin@city.fukui.lg.jp